



| | | | | | |
|-----------|-------------------------|--------|-----------------------------|----|---------|
| 氏名 | 古屋 友和 / FURUYA Tomokazu | 職名 | 准教授 | 学位 | 博士 (工学) |
| 所属 | 医療福祉工学コース / 荒川キャンパス | E-mail | t-furuya(at)metro-cit.ac.jp | | |
| シーズ キーワード | 人間工学、感性工学、ユニバーサルデザイン | | | | |

| | |
|--|--|
| 相談可能なテーマ | 講座・講演会のテーマ例 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザインタフェースデザイン ・ユニバーサルデザイン ・製品の使いやすさ/印象評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・はじめての人間工学講座 (中学生向け) |

研究・教育内容の紹介

<高齢ドライバーに向けた情報提示の研究>

高齢ドライバーは潜在的な危険などを予測する能力が低下し事故を起こしやすくなります。そこで本研究室では、直感的にわかりやすい注意喚起や安全のための情報提示技術の研究をしています。視線の動きや動作、運転操作データからドライバーの注意状態を推定し適切なタイミングでの注意喚起や、触覚の錯覚現象を利用した振動刺激をドライバーに与えて安全行動を促します。



<ドライビングシミュレータ>

<高齢者に向けた自動車の乗降支援の研究>

自動車の乗降動作は、体を支えながら、足を曲げて乗り込むため、高齢者にはとても身体的負荷の高い動作です。その動作を軽減するための支持具の開発や乗降しやすい車体形状などを研究しています。



<乗降性評価用モックアップ>

<魅力ある製品化のための感性工学手法の研究>

人は製品を使う時に様々な印象を持ちます。その印象について心理学的手法を用いて定量化し、製品の物理特性と対応させることで、良い印象与える魅力ある製品を設計する手法を研究しています。

| | |
|---|---|
| 利用可能な機器/施設 | 所属学会/協会 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ドライビングシミュレータ(SCANer) ・視線計測器(固定型/メガネ型) ・フォースプレート ・3Dプリンターなど | <ul style="list-style-type: none"> ・日本人間工学会 ・ACM ・ヒューマンインタフェース学会 ・自動車技術会 ・日本交通科学学会 |

その他参考事項

自動車会社で約 17 年勤務し、製品開発、先進技術開発、技術戦略、企業での人材育成などの経験がありますので、幅広い支援が可能です。